

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
建築計画 1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	三矢 雅人			実務 経験	有	職種	建築設計/建築設計事務所主宰□				
担当教員紹介											
<p>建築家のもとで10年間設計監理の修業をしたのち独立し、デザイン事務所を主宰。リノベーションや住宅、オフィスビル等の設計監理などに関わる経験を持つ。</p>											
授業概要											
<p>この授業では、教科書と配布プリントを中心に進める。体験型の学習（書いて覚えるなど）を行うので、筆記用具・コンベックス・三角スケール・三角定規、蛍光ペン（赤・黄・青など3色）を使用する。積極的に配布プリントや教科書・ノートなどに書き込むなどすることで、知識や技術を身につける。”</p>											
到達目標											
<p>建築計画の役割、人体寸法に即した単位空間の計画、独立住宅と集合住宅の計画事例について理解する。空間の快適性を保証するための環境工学の中でも計画原論について理解する。</p>											
授業方法											
<p>目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。</p>											
成績評価方法											
試験	50%	試験の評価									
平常点	50%	授業中に取り組むプリント課題(毎回・回収予定)、授業態度や参加度、出席状況									
履修上の注意											
<p>毎回、教科書・筆記用具・蛍光ペンを持参すること。また、教員の指示によりコンベックス・三角スケール・三角定規を持参すること。平常点を重要視するので毎回出席し授業中は配布プリントに書き込むことを心掛ける。遅刻や欠席をしないこと。やむを得ず欠席した場合は、担当教員のいる時にプリントを受け取って、自分で学習すること。なお、下記のスケジュールは、授業の進行状況や学生の習熟度状況によって変更することがある。</p>											
教科書教材											
『初学者の建築講座 建築計画』（市ヶ谷出版社）、『コンパクト設計資料集成』（丸善）/配布資料											
回数	授業計画										
第1回	建築計画とは、人体寸法と物 ガイダンス・基本寸法の把握										
第2回	人体寸法と空間 人体寸法にまつわる寸法把握										
第3回	階段とスロープ 階段・スロープの寸法把握										
第4回	全体で寸法を考える 全体計画から部分計画を考える方法について										
第5回	明治・大正期の住宅 近代住宅の成立過程と部屋の機能										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
建築計画 1	
第6回	福祉住環境コーディネーター対策 模擬テスト
第7回	学校教育施設の計画 5 レポート作成・発表 1
第8回	社会教育施設の計画 1 生活圏とコミュニティ施設、図書館の変遷、計画
第9回	社会教育施設の計画 2 図書館の計画、実例建築
第10回	社会教育施設の計画 3 美術館の変遷、計画
第11回	社会教育施設の計画 4 美術館の計画、実例建築
第12回	社会教育施設の計画 5 コミュニティセンター・公民館の変遷、計画
第13回	社会教育施設の計画 6 コミュニティセンター・公民館の計画、実例建築
第14回	社会教育施設の計画 7 レポート作成・発表 2
第15回	まとめ 最新の実例紹介、試験・課題